

# 2009年度保護者アンケート調査結果報告

2010年2月3日

法政大学総長室付大学評価室長

公文 溥

大学評価室では、自己点検・評価に資する情報の収集を目的として、様々なアンケート調査を実施しています。

2009年11月から12月にかけて、学部学生の保護者2000名を対象としたアンケート調査を実施いたしました。その結果、多くの保護者の皆様のご協力を頂くことができました。厚く御礼申し上げます。

頂きました貴重なご回答ならびにご意見は、関係部局にフィードバックするとともに、教育研究の質のより一層の向上のため、活用させていただく所存です。

今後とも皆様からの幅広いご意見をお待ちしております。

## <調査の概要>

- ◆ 調査対象 学部生の保護者 2000名 各学年500名
- ◆ 調査時期 2009年11月～12月
- ◆ 調査方法 調査票を用いた無記名式による調査  
調査票は、保証人住所宛に郵送し、返信用封筒にて回答。
- ◆ 回答数 770名(回収率38.5%)
- ◆ 回答者の属性 父41.4% 母56.4% その他2.2%

## <調査結果>

### I. 現時点で法政大学および入学学部に対してどの程度満足していますか。

表1-1：法政大学に対する満足度

満足している	38.2%
やや満足している	33.4%
普通	21.4%
あまり満足していない	3.0%
満足していない	0.6%
わからない	3.0%
無回答	0.4%

表1-2：入学学部に対する満足度

満足している	32.1%
やや満足している	28.6%
普通	23.8%
あまり満足していない	5.2%
満足していない	0.5%
わからない	8.2%
無回答	1.7%

7割を超える皆様が、法政大学に対して満足（「満足している」または「やや満足している」）と回答しています。また、入学学部に対する満足は約6割でした。

## II. 法政大学は社会からどのように評価されていると思いますか。

肯定的回答（「そう思う」と「ややそう思う」の回答）の割合は次の通りでした。

表2：本学の社会的評価

項目	結果
1 本学は社会的にも高く評価されている	67.9%
2 本学の教育研究水準は相対的に高い	49.5%
3 本学は教育研究を通して社会に貢献している	41.6%
4 本学の国際交流事業は活発である	30.6%
5 本学は環境への取組を通して社会に貢献している	27.0%
6 本学の卒業生は社会的に活躍している	59.2%

約7割の皆様が「本学は社会的に高く評価されている」と回答しています。

## III. 法政大学が今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。

表3：本学が今後さらに充実すべき点（回答数の多い順）

項目	回答数
就職支援	510
学生の教養を高めるための教育	443
学生の専門性を高めるための教育	427
キャリア教育（職業観の育成）	366
学生の英語力を高めるための教育	303
学生生活に対する支援（奨学金・サークル活動など）	202
学生のコンピュータ能力を高めるための教育	160
公開講座等の生涯学習教育	133
国際交流活動	132
大学スポーツ活動	108
広報活動	86
施設・設備	71
教員の研究活動	69

就職支援への充実要望が最も高くなっています。以下、教養教育、専門教育、キャリア教育、英語教育など教育活動全般に対する要望が続いています。

## IV. 大学からの情報提供について

### (1) 情報提供について満足していますか。

表4：情報提供への満足度

満足している	26.5%
やや満足している	32.6%
普通	31.0%
あまり満足していない	6.8%
満足していない	0.6%

普通を含めると約9割の皆様が現在の情報提供に満足していると回答しています。

(2) どのような種類の情報をもっと発信すればよろしいでしょうか。

表5：情報発信への要望（回答数の多い順）

項目	回答数
就職に関する情報	561
学習成果に関する情報	303
教育内容に関する情報	274
大学全般に関する情報	200
経済的支援に関する情報	123
大学の経営に関する情報	74

就職に関する情報を求める回答が圧倒的に多いことが判明しました。

V. 身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか。

表6：法政大学を勧めたいか

勧めたい	55.1%
勧めたくない	3.5%
わからない	38.7%

半数を超える保護者の皆様が、法政大学を勧めたいと回答しています。

以上